

## 平成22年度 決算の概要

平成22年度は、第4次藤岡市総合計画の理念を踏まえ、防犯対策、道路新設改良、環境保護、健康増進、教育施策の拡充や子育て環境の整備、人口定住・雇用の創出などを重点とする予算編成を行い、予算執行を行いました。

しかしながら、地域活性化交付金等の国庫支出金の大幅な減額により、厳しい財政状況となりました。このような状況の中で、行財政改革に積極的に取り組み、財政の収支均衡を図るとともに、創意工夫を凝らして限られた財源を最大限に生かすことにより、市民サービスの向上と活力あるまちづくりの推進に努めました。

主な事業は、障害者支援センターきららの開設、75歳以上の方を対象に行う肺炎球菌予防接種事業、女性特有のがん検診事業、北藤岡駅西側踏切拡幅などの道路整備、庚申山アスレチック広場整備やミニ遊園地の遊具の更新、国指定史跡の高山社跡保存整備事業の実施、特別支援学級教員助手の増員配置などを実施しました。

一般会計 歳入 248億8,425万8,834円

一般会計 歳出 239億9,822万0,196円

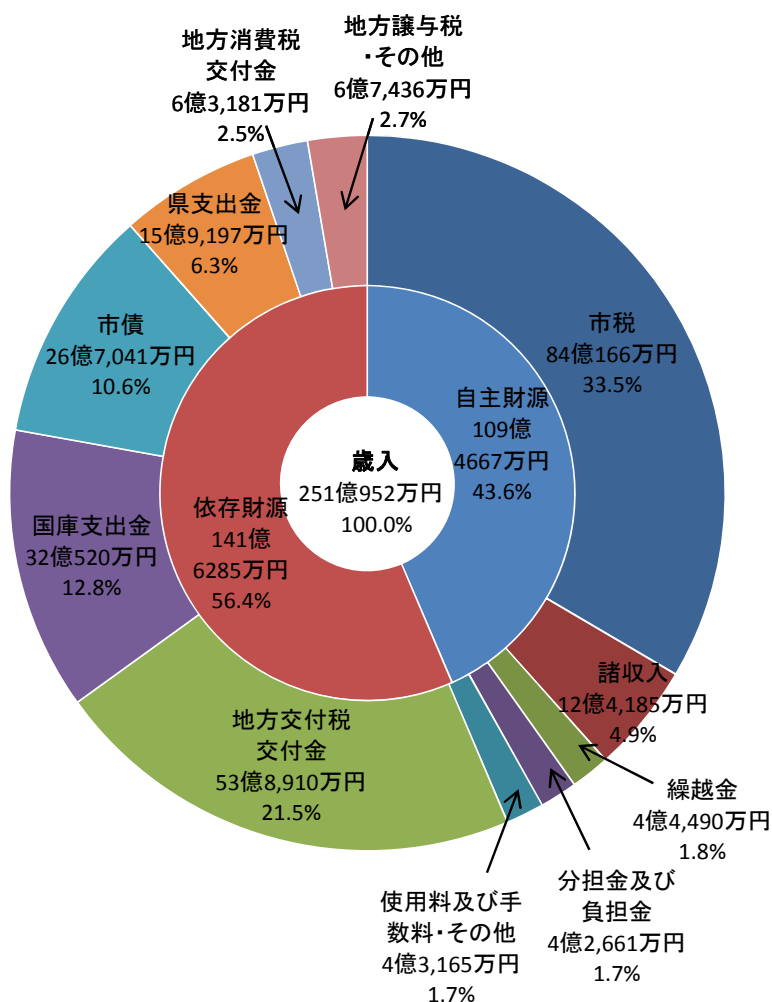
(単位 円)

会計区分	歳入	歳出	歳入歳出 差引	翌年度へ繰越 すべき財源	実質収支	
一般会計	24,884,258,834	23,998,220,196	886,038,638	214,149,285	671,889,353	
特別会計	国民健康保険事業	7,798,380,314	7,301,031,542	497,348,772		497,348,772
	老人保健事業	1,243,986	658,613	585,373		585,373
	後期高齢者医療事業	525,803,232	516,909,307	8,893,925		8,893,925
	介護保険事業	4,445,988,022	4,427,526,981	18,461,041		18,461,041
	介護老人保健施設事業	298,874,166	298,238,116	636,050		636,050
	住宅新築資金等貸付事業	9,714,299	6,896,230	2,818,069		2,818,069
	学校給食センター事業	532,291,931	527,412,442	4,879,489		4,879,489
	下水道事業	1,129,537,358	1,097,292,675	32,244,683		32,244,683
	特定地域生活排水処理事業	21,270,592	20,281,734	988,858		988,858
	簡易水道事業等	59,904,422	54,564,541	5,339,881		5,339,881
	三波川財産区	15,896,043	15,584,482	311,561		311,561
	水道事業	1,731,823,246	2,108,281,175	△ 376,457,929		△ 376,457,929
	国民健康保険亀石病院事業	1,146,393,061	1,187,793,742	△ 41,400,681		△ 41,400,681

# 平成22年度 普通会計・決算

## 歳入

総額では、前年度と比べて14億6,663万円(5.5%)の減額となりました。  
 減額の主なものは、繰入金で7億2,985万円(90.5%)の減、国庫支出金で14億8,570万円(31.7%)の減です。繰入金の減額の理由は、平成21年度に行った財政調整基金と職員退職手当基金の取り崩しを平成22年度は行わなかったことなどが挙げられます。国庫支出金の減額の理由は、定額給付金事業の終了(10億6772万円減)や地域活性化交付金の減額などが挙げられます。  
 増額の主なものは、地方交付税で6億3,329万円(13.3%)の増、臨時財政対策債で5億3,897万円(56.9%)の増、中小企業経営安定資金貸付金などの貸付金元利収入で1億6,633万円(27.7%)の増となっています。

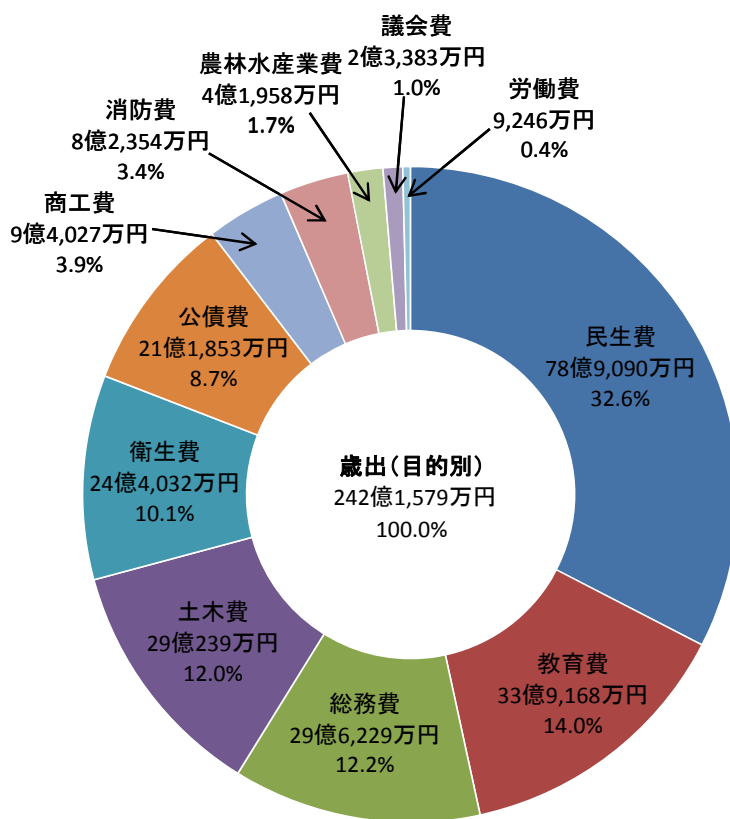


※ 原則として、表示単位未満を四捨五入しているため、合計等と一致しない場合がある。

# 平成22年度 普通会計・決算

## 歳出(目的別)

総額では、前年度と比べて17億1,547万円(6.6%)の減額となりました。  
減額の主なものは、総合学習センター建設工事(10億2,689万円)の完了により教育費で12億4,630万円(26.9%)の減、定額給付金事業(10億6,772万円)の終了により総務費で8億1,415万円(21.6%)の減となっています。  
増額の主なものは、総合学習センター周辺道路整備事業(1億2,347万円)などにより土木費で2億2,933万円(8.6%)の増、中小企業経営安定資金預託金の増(1億7,900万円)などにより商工費で1億6,477万円(21.2%)の増となっています。

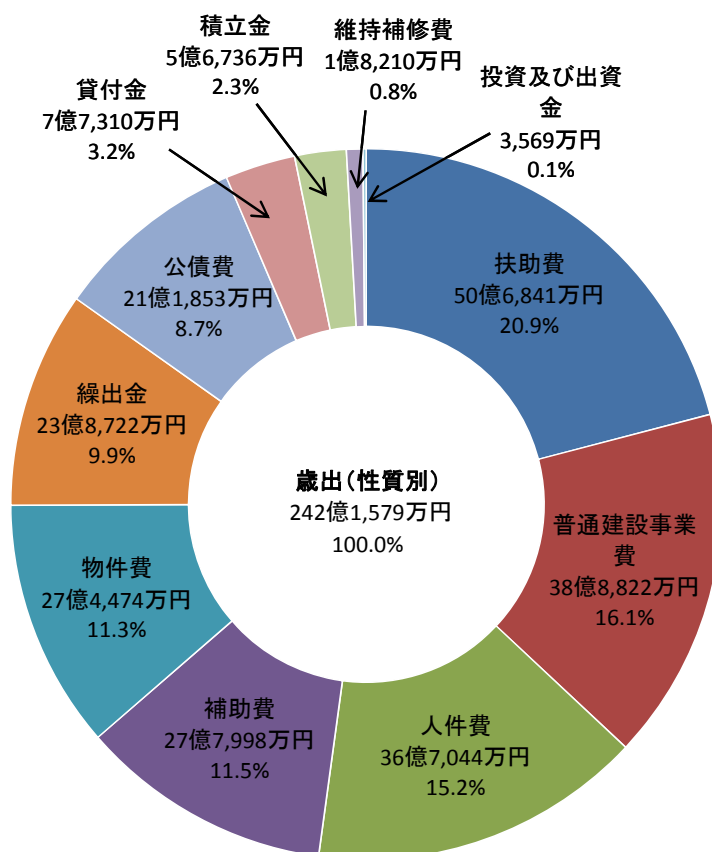


※ 原則として、表示単位未満を四捨五入しているため、合計等と一致しない場合がある。

## 平成22年度 普通会計・決算

### 歳出(性質別)

総額では、前年度と比べて17億1,547万円(6.6%)の減額となりました。  
 減額の主なものは、定額給付金交付事業の終了や市税還付金・還付加算金の減(1億300万円)などにより補助費等で11億5,444万円(29.3%)の減、総合学習センター建設工事の完了や中・上大塚線街路事業の減(2億5,412万円)などにより普通建設事業費で15億82万円(27.8%)の減となっております。  
 増額の主なものは、子ども手当支給事業(11億4,790万円)や自立支援給付事業(1億1,857万円)などにより扶助費で9億7,488万円(23.8%)の増、減債基金積立金(4億4,244万円)などにより積立金で5億6,231万円(11,141.5%)の増となっております。



※ 原則として、表示単位未満を四捨五入しているため、合計等と一致しない場合がある。